

# ふむふむ

こうふうだいしょうがっこうとしょしつ  
光風台小学校図書室

令和6年（2024年）7月号

7月は別の呼び名で文月といい短冊に歌や字を書いて、書道の  
上達を祈った七夕の行事の「文披月（ふみひらづき）」から変わ  
ったものといわれています。



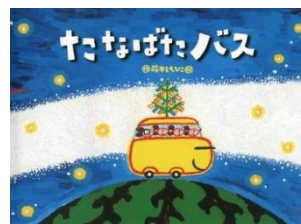
また、穂が見えるようになる頃であることから「穂見月（ほみづき）」から変  
わったという説もあります。「ふづき」とも読みます。

## としょかんたんけん

### ほんのしょうかい

- 『たなばたバス』 藤本ともひろ：作・絵

今度のバスくとねずみくんは星空で大活躍。おりひめ  
さまの願いを叶えるために、力を合わせてがんばります。  
おなじみのバスくんのだじゃれもいっぱいです。



- 『たなばたまつり』 松成真理子

もうすぐ七夕。町みんなは広場の笹に願いごとを書いた短冊を飾りま

した。「たなばたまつり」の夜、短冊を離れた願いの言葉たちは  
そらあが うつく ところ はなし  
空へと上って行って……。美しく心あたたまるお話です。



・『七月七日はまほうの夜』 石井睦美：作 たかはしかずえ：絵

りえ、みな、ゆかの女の子3人組が主人公。3人は、暑さを  
しのぐために行った神社で、古い小屋を見つけた。そこで出会っ  
たおばあさんが、流れ星になって落ちてきた織姫さまだと聞か  
され「織姫さまが天に帰れますように」という願いごとを書いた  
たくさんの短冊を笹に飾る。すると……。



・『ぼくの、ひかり色の絵の具』 西村すぐり：作 おおのやおい：絵

担任に納得のいかない絵を描かされ、ユクは傷つく。憧れ  
の少女に励まされつつ、ユクは自分自身を発見していく。爽や  
かな物語！！



そのほかに 『たなばたものがたり』 舟崎克彦：文 『なつねこ』 かのゆうこ：  
文 『ねがいぼしかなえぼし』 内田麟太郎：作